

小さな町の素敵な音楽祭

第36回木曾音楽祭

2010.8.27 ▶ 29 木曾文化公園文化ホール

8月27日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

- **ダンツイ**
七重奏曲 (原曲: 木管六重奏曲 Op.10)
- **ダマーズ**
フルート、オーボエ、クラリネットとピアノのための四重奏曲
- **リゲティ**
6つのバガテル
- **ドヴォルザーク**
弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.77



8月28日(土) 5時 フェスティバルコンサート II

- **シューベルト**
八重奏曲 ヘ長調 D.803
- **ドヴィエンス**
ファゴット四重奏曲 ト短調 Op.73-3
- **シューマン**
ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Op.47



8月29日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

- **グノー**
小交響曲 (管楽九重奏曲)
- **コルンゴルト**
ピアノ五重奏曲 ホ長調 Op.15
- **ブラームス**
弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 Op.18



Flute	佐久間由美子	
Oboe	古部賢一	多田敦美
Clarinet	山本正治	近藤千花子
Fagott	岡本正之	菅野千裕
Horn	吉永雅人	和田博史
Violin	久保陽子	加藤知子
	漆原啓子	白井 圭
Viola	菅沼準二	飛澤浩人 大島 亮
Violoncello	山崎伸子	花崎 薫 伝田正則
Contrabass	星 秀樹	
Piano	野島 稔	寺嶋陸也
Director	山本正治	

主催 = 木曾音楽祭実行委員会
 共催 = 木曾町・木曾広域連合・信濃毎日新聞社
 財団法人 信毎文化事業財団
 企画制作 = 東京アーティストズ

入場料
 フェスティバルコンサート(全指定)
 大人 ¥4,000 小・中学生 ¥2,000
 フェスティバルコンサート通し券
 指定 ¥11,000 (前夜祭コンサートチケット付き)
 前夜祭コンサート(自由席)
 大人 ¥1,000 小・中学生 無 料

*通し券は木曾音楽祭事務局のみ取り扱い (限定120席)



前夜祭コンサート 8月26日(木) 7時 福島中学校体育館

*曲目・出演者が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。また未就学児の入場はお断り致します。

■チケット予約・お問い合わせ
 木曾音楽祭事務局 **0264(21)1222**
<http://www.town-kiso.com/music/>
 東京アーティストズ 03(3440)7571

■プレイガイド
 木曾文化公園 0264(23)8011
 カンフェティ Confetti 0120(240)540
<http://confetti-web.com>

木曽音楽祭の力

木曽音楽祭実行委員会会長 木曽町長 田中勝己

今年で36回目を数える木曽音楽祭。三分の一世紀を超える長い歴史を振り返ると、さまざまなドラマに満ちている。国際音楽祭として出発したころは、華やかなスポットライトに照らされたが、一方で財政負担が重くのしかかった。当時の実行委員会にとって大きな重石であったろう。現在の原型が始まってからも、長く厳しい時期が続いた。演奏家と町のボランティアが一体となってこれを支え、苦難を乗り越えてきたと述べている。

木曽音楽祭を心待ちにするお客さんがだんだん増えて、会場が満杯になった日、音楽祭を支えた実行委員会のメンバーは、抱き合って涙を流した。10年前だったろうか。

困難な時期を乗り越えた頑張りがある、はじめて今日の成功があると言える。

いま、この木曽音楽祭が、多くの参加者の魂を揺さぶっている。この木曽音楽祭の感動が、町づくりの大きなエネルギーになり、力になっているのだ。

例えば昨年からはじめた「メディア塾」は、木曽音楽祭と重なって開かれ、将来メディアの世界をめざす東西の学生60人が参加した。この学生を対象にした塾は2月にも、「冬のメディア塾」として開かれ、またこの夏も計画されている。もっとも主催者の徳山氏（大手新聞社）は、「木曽音楽祭のように、息の長い塾にしたい」と情熱を語った。氏は、数年前はじめて木曽音楽祭に参加して、木曽のような山間地にありながら、その水準の高さに驚いた。しかも演奏家とボランティアが協力し合って、30年の歴史を積み上げた姿に感動、ここなら「メディア塾」が出来るかもしれないと

考えたことが契機だった。

また、同じころ私は若い青年の訪問を受けた。「うちは少し変わった会社でしてね。日本の優秀な学生が卒業すると、どんどん海外に出て行く。そんなことでこの日本はどうなるんだと議論しているうちに、教育の会社を造ろうということになりまして、それで出来た会社です」青年はそう言って自己紹介した。青峰高校の生徒が、6ヶ月宇宙に滞在したミヤコ草の種子の発芽実験をしたのは、この会社が持ち込んだ教材だった。今年は木曽ヒノキの種子を最後のスペースシャトルで打ち上げ、その宇宙帰りのヒノキを育て、名所に記念植樹をしたいと願っている。

「ふるさと往来クラブ」もその一つ。東京に本部のあるNPO法人。木曽町にはじめてきたのが昨年の2月だった。代表の古川猛氏は「面白い町だ。私は頑張る地方の応援団です」開田高原での懇親会の席で漏らした。いま、東京新宿にサテライトショップを開設、木曽町の他に福島県の産品なども扱っているが、店舗とともに移動販売車おんたけ号を運行している。

同じNPOの「緑の挑戦者」も応援団、東京に本部のある「木曽賢人会」もその一つだ。木曽町では、いま地域資源研究所の設立準備を進めているが、それを「応援したい」という学者が何人も名乗りを上げている。

これらの多くが「音楽祭が契機」だった。私はこれを「木曽音楽祭の力」とよんで、感動している。36回目となる今年、是非とも参加者の琴線に触れる祭典として成功させたい。

8月26日(木) 7時 前夜祭コンサート

曲目は後日発表

8月27日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

- ダンツィ●七重奏曲 (原曲：木管六重奏曲 Op.10) <近藤 岡本 和田 加藤 大島 山崎 星>
- ダマーズ●フルート、オーボエ、クラリネットとピアノのための四重奏曲 <佐久間 古部 山本 寺嶋>
- リゲティ●6つのバガテル <佐久間 古部 近藤 菅野 吉永>
- ドヴォルザーク●弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.77 <久保 白井 菅沼 伝田 星>

8月28日(土) 5時 フェスティバルコンサート II

- シューベルト●八重奏曲 ヘ長調 D.803 <山本 岡本 吉永 白井 漆原 飛澤 山崎 星>
- ドヴィエンヌ●ファゴット四重奏曲 ト短調 Op.73-3 <岡本 漆原 大島 伝田>
- シューマン●ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Op.47 <加藤 飛澤 花崎 野島>

8月29日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

- グノー●小交響曲 (管楽九重奏曲) <佐久間 古部 多田 山本 近藤 岡本 菅野 吉永 和田>
- コルンゴルト●ピアノ五重奏曲 ホ長調 Op.15 <漆原 白井 大島 花崎 寺嶋>
- ブラームス●弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 Op.18 <久保 加藤 菅沼 飛澤 山崎 伝田>

チケット先行予約

6月13日(日) 午前10時～午後5時

木曽音楽祭事務局 Tel.0264(21)1222

(6月14日からは 平日午前8:30～午後5:30) (土日は受付けておりません)

木曽文化公園文化ホール
舞台

7	12	あ	13	24	あ	25	30
6		い			い		31
4		う			う		33
3		え			え		34
2		お			お		35
1		か			か		36
		き			き		
		く			く		
1	12	け	13	24	こ	25	36
		こ					
1	12	さ	13	24	さ	25	36
		し			し		
		す			す		
		せ			せ		
		そ			そ		
		た			た		
		ち			ち		
		つ			つ		
		て			て		36
		と			と		
1	12	な	13	24	な	25	32 33 34
							車椅子席

交通のご案内

新宿 ⇄ 木曽 直通高速バスで4時間10分

木曽福島行き		新宿行き	
新宿駅西口 発	木曽福島駅前 着	木曽福島駅前 発	新宿駅西口 着
8:10	12:20	7:40	11:50
17:20	21:30	15:40	19:50

片道運賃＝新宿～木曽福島 4,500円 (往復券10%引・回数券4枚12.5%引)
お問い合わせ・ご予約＝京王高速バス予約センター Tel.03(5376)2222
おんたけ交通高速バス予約センター Tel.0264(22)4555
インターネット＝<http://www.highwaybus.com> iモード＝<http://www.highwaybus.com/i>

電車 (JR特急)

■東京から木曽福島
中央本線 あずさ、塩尻しなの、中央本線…約3時間20分
新幹線 → 長野しなの、中央本線…約3時間20分

■名古屋から木曽福島
中央本線 ……1時間18分

車

■東京(高井戸IC)から木曽福島
中央自動車道 塩尻IC→R19…約3時間45分
中央自動車道 伊那IC→R361→R19…約3時間30分

■名古屋から木曽福島
中央自動車道 中津川IC→R19…約2時間10分
中央自動車道 伊那IC→R361→R19…約2時間20分

御嶽の里 三岳

美しい木々と荘厳な滝



御岳ロープウェイ：標高3,067m、木曾のシンボル御嶽山。ロープウェイを利用して美しい景色を眺めたり、登山やハイキングを楽しむことができる。



百間滝：油木美林屈指の名瀑。御嶽山の雪解け水が白い筋となって流れ落ちるその様は、水墨画を思わせる美しさ。



白川氷柱群：御嶽の清水が凍りついた氷柱群は、最大で幅250m、高さ50mにもなる壮大なもの。荘厳な自然が作り出す木曾ならではの芸術。夜間はライトアップもされる。

木曾御嶽山の麓「木曾町三岳地域」は、「自然」と「歴史」が時間とともに深まり合っているような所です。御嶽山には、日本の高山湖の中で最も深い湖として、コバルトブルーの美しい「三の池」をはじめとする自然遺産と、山そのものが信仰の対象であるという山岳宗教の霊山として、多くの信者が訪れる文化遺産でもあります。御嶽山周辺では、ロープウェイを利用しての頂上登山・ハイキングも楽しいですが、御嶽教霊神碑などの史跡巡りや溪流に点在する数々の滝、手付かずに残された大木の森から、森林の持つ神秘さに触れてみるのも、他では経験出来ない事です。



三の池：美しく神秘的な湖で、その湖水は山岳信仰者から「御神水」と呼ばれ尊ばれている。



油木美林：御嶽山の裾野に広がる太古の森。木曾五木をはじめ、かつて尾張藩の御神木として守られてきた樹齢300年を超える樹木が生い茂る。遊歩道が整備されているため、森林浴やバードウォッチングにも最適。森を満たす爽やかな空気と緑の香りに、心も体も癒される。

フェスティバルコンサート会場での軽食・お土産販売

8月27日(金)～29日(日) 開場1時間前から販売

地元で地産地消に取り組む団体が、五平餅などの木曾の郷土料理や特産品などを販売いたします。ぜひご賞味ください。

●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人200円 小人100円)

	木曾福島駅発	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅着
8月27日(金) 19:00	18:00	18:20	21:00	21:20
8月28日(土) 17:00	16:00	16:20	19:00	19:20
8月29日(日) 15:00	14:00	14:20	17:00	17:20

*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後します
*臨時バスは、右記、木曾福島の宿泊施設近くのバス停にも停まります

木曾音楽祭協賛宿泊施設のご案内

(地区順・50音順)

地区	施設名	電話	温泉	街なか	高原	ペンション
木曾福島	木曾路の宿 いわや	0264(22)2015	●	●		
	山みず季 つたや	0264(22)2145	●	●		
	おん宿 蔦屋	0264(22)2010	●	●		
	三河家旅館	0264(22)2030	●	●		
木曾駒	木曾駒高原ホテル	0264(23)8080	●		●	
	駒 王	0264(23)7201			●	
	駒 の 湯	0264(23)2288	●		●	
	ペンションアルパイン	0264(23)8001			●	●
開田高原上松	森 の ホテル	0264(23)7331			●	
	つたや季の宿 風里(かざり)	0264(42)1188	●		●	
	ペンションJハウス	0264(44)2219			●	●
	ねざめホテル	0264(52)2245	●			

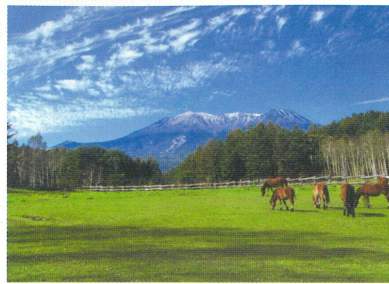
その他の宿泊情報は、

信州木曾観光フロント(株)へお問い合わせください

Tel. 0264(22)3600 Fax. 0264(22)4400

音楽祭の合間には こんな楽しみ方も

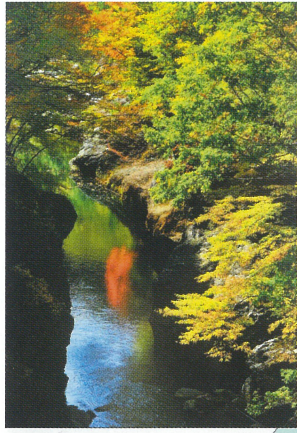
木曽は豊かな自然と水に恵まれた歴史の宝庫です。音楽祭会場になっている木曽駒高原から少し足を伸ばせば、木曽馬に乗ったり、ロープウェイで雄大な景色を眺めたり、古い街並を散策したりと楽しみがいっぱいです。また、そばや五平餅を味わうのも楽しみの一つです。演奏会の始まるまでの時間。魅力あふれる木曽の良さを堪能してみたいかがですか。



木曽馬の里：高原の放牧場では約30頭余りの木曽馬たちがのんびり草を食んでいて、乗馬体験を楽しむこともできる。



奈良井宿：難所・鳥居峠のふもとにあり江戸時代には「奈良井干軒」と言われるまでに栄えた宿場。「中村邸」「上問屋史料館」など重要文化財も多く残っている。



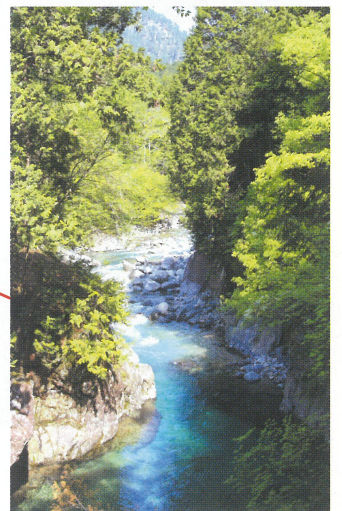
猿橋溪谷：開田高原から流れ来る西野川の水が岩盤を削ってできた溪谷。特に紅葉の時期は色づいた木々が清流に映り、見る人の心を和ませてくれる。



寝覚の床：木曽路を代表する名勝の一つ。木曽川の奇岩とエメラルドグリーンの水色が殊に美しい。浦島太郎伝説も残り、岩の上に祠・浦島堂がまつられている。



自然湖：長野県西部地震の際、土石流で川がせき止められてできた湖。幻想的な空間のカヌー体験が魅力。



阿寺溪谷 木曽五木が茂る山が両岸に迫り、狸ヶ淵や犬婦りの淵など美しい溪谷美が続く。



赤沢自然休養林の森林鉄道 森林浴発祥の地・赤沢自然休養林。木曽ヒノキなど樹齢300年を超える樹木の中を森林鉄道が走っている。



妻籠宿：全国で初めて古い町並みを保存した宿場町。国の重要伝統的建造物群保存地区の第一号。夕暮れ時などは江戸時代にタイムスリップしたような趣がある。



ミニ情報

木曽音楽祭ミニレター

地元の印刷屋さんで作っているミニレター。ちょっとしたメモや便箋として手軽に使えることから人気があります。会場で販売していますのでお買い求めください。 1冊 200円(税込)

木曽路観光のお問い合わせは

木曽観光連盟 0264(23)1122
木曽町観光協会 0264(22)4000

<http://www.kisoji.com/>
<http://www.kankou-kiso.com/>